

## 第二鳥子工業団地造成敷地譲受申込書

年 月 日

熊本県西原村長 吉井 誠 様  
(総合政策課扱い)

住 所  
会社名  
代表者



第二鳥子工業団地造成敷地譲受の資格条件、譲受条件を了承のうえ、必要書類を添えて申し込みいたします。

### ■連絡先

所在地	
連絡責任者	
電話番号	
E-mail	

### ■添付書類

- ①定款
- ②商業登記簿謄本
- ③譲受希望地における工場等配置計画図、土地利用図及び生産工程図
- ④最近2カ年の貸借対照表、損益計算書、剰余金処分計算書又は欠損金処理計算書及び事業報告書
- ⑤有価証券報告書（上場企業のみ）
- ⑥会社概要書（営業案内書）
- ⑦最近1カ年の法人税の納税証明書（正本1通、他は写しで可）
- ⑧印鑑証明書（正本1通、他は写しで可）
- ⑨その他必要な書類
- ⑩別紙「契約に係る重要事項の確認」

## 1 譲受を必要とする理由

理由				
進出形態	新設・拡張・移転	拡張又は移転に係る工場等	(工場名)	(所在地)

(注) 進出形態欄は該当項目を○印で囲んでください。

## 2 会社の概要

(1) 一般概要 (        年    月    日時点)

会社名			
業種 (業種番号)		従業員数	
払込資本金	万円	設立年月日	
主要事業内容 (取扱品目)			

(注) 業種は、日本標準産業分類の中分類を、業種番号は、中分類番号を記載してください。

(2) 会社の沿革

年月日	事項	年月日	事項

(注) 会社の設立からこの申込書提出日までの間につき、設立経緯、商号の変更、合併、事業目的の変更、工場の新設等主な変遷について記載してください。

(3) 役員 ( 年 月 日時点)

役 職 名	氏 名	担 当

(4) 事業所等の概要 ( 年 月 日時点)

事業所等	所在地	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	従業員数 (人)

(5) 主要株主名 ( 年 月 日時点)

株主名	持株数(株)	対総株主シェア (%)
証券取引所名		
上場開始年月日		

(6) 主要取引金融機関 ( 年 月 日時点)

金融機関名	使 途	現在借入高 (円)
合 計		

(7) 主な販売先・仕入先 ( 年 月 日時点)

区分	取引先名	所在地	取引年数 (年)	年間取引額 (千円)	主要な取引品目
販 売					
合 計					
仕 入					
合 計					

(8) 企業の特徴

--

※同業他社に比べ、優れていると思われる点、企業経営上の工夫、製品の特徴、表彰事項など自由に記入してください。

(9) 経営状況 (            年    月    日時点)

ア 売上構成

年			年		
事業内容	売上高 (百万円)	比率 (%)	事業内容	売上高 (百万円)	比率 (%)
合 計			合 計		

※事業内容は、「〇〇製造」等、具体的に記載してください。

イ 貸借対照表要旨 (単位：千円)

項 目		年 月期	年 月期	
資 産	流 動 資 産			
	固 定 資 産			
	( 投 資 )			
	繰 延 資 産			
合 計				
負 債	流 動 資 産			
	固 定 負 債			
	引 当 金			
	小 計			
資 本	資 本 金			
	法 定 準 備 金			
	余 剰 金			
	内 訳	積 立 金		
		繰延利益金		
		当 期 利 益		
小 計				
合 計				

ウ 損益計算書要旨（単位：千円）

項 目		年 月期	年 月期	
経常利益	営業損益	売上高		
		売上原価		
		一般管理費 及び販売額		
	営業利益			
	営業外損益	営業外利益		
		営業外費用		
経常利益				
特別損益	特別利益			
	特別損失			
税引前当期利益				
当期利益				
前期繰越利益				
当期末処分利益				

エ 利益処分表（単位：千円）

項 目	年 月期	年 月期
資本準備金		
利益準備金		
積立金		
配当金		
役員賞与金		
次期繰越金		
合 計		

オ 比率分析表 (単位: 千円)

比率区分	年 度	年 月 期	年 月 期	備 考
経営資本対営業利益率(%)				
営業利益/経営資本×100				
総資本回転率(回)				
純売上高/総資本				
固定長期適合率(%)				
固定資本/(自己資本+長期借入金)×100				
流動比率(%)				
流動資産/流動負債×100				
売上高支払利息比率(%)				
(支払利息・割引率-受取利息)/純売上高×100				
従業員一人当たりの年間売上高(千円)				
純売上高/従業員数				
従業員一人当たりの年間加工高(千円)				
{生産高-(直接材料費+買入部品費+外注工賃+間接材料費)} / 従業員数				
売上高対経常利益率(%)				
経常利益/純売上高×100				
売上高対営業利益率(%)				
営業利益/純売上高×100				

※直近の2期分をご記入ください。

(10) 納税状況 (単位: 千円)

区 分	年 度	年 度	年 度
法 人 税			
法 人 事 業 税			

(注) 法人事業税については、該当都道府県の合計額を記載してください。

### 3 計画概要

#### (1) 建設計画の概要

期別 区分	第1期	第2期以降	合計
予定工期			
施設名			
建物面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
(建ぺい率)	( % )	( % )	( % )
建物延べ面積	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
(容積率)	( % )	( % )	( % )
工事着手年月	年 月予定	年 月予定	年 月予定
操業開始年月	年 月予定	年 月予定	年 月予定
新設事業内容 * 当立地区画での 事業内容の詳細			
主要設備の概要			

(注) 第1期の予定工期については、着手年月を土地引渡の日から2年以内に、操業開始年月は、土地引渡の日から3年以内にしてください。

(注) 土地利用計画と一致させてください。

#### (2) 土地利用計画

区分	生産施設 用地	公害防止 施設用地	事務所 用地	駐車場 用地	緑地	その他	合計
面積 (m <sup>2</sup> )							
比率 (%)							

## (3) 資金計画 (単位：千円)

期 別		第 1 期	第 2 期以降	合 計	
項 目					
設 備 投 資 額	土 地				
	建 物				
	構 築 物				
	機 械 装 置				
	工 具 ・ 器 具 ・ 部 品				
	そ の 他				
	合 計				
調 達 額	自 己 資 金	内部留保			
		増 資			
		そ の 他			
		小 計			
	借 入 金	金融機関から の 借 入 (償還年数 年)			
		その他の借入 (償還年数 年)			
		合 計			
合 計					

(注) 土地の欄には、土地譲受代金を、機械装置及び工具・器具・備品費については移設に要する費用を含んだ額を記載してください。

(4) 生産計画

	主要製品名	年間生産量 (t/年)	年間生産額 (百万円)	従業員数 (人)	用水使用量 (m <sup>3</sup> /日)		排水量 (m <sup>3</sup> /日)	
					上水道・ 工業用水	地下水	要処理水	その他
第1期				_____人				
				うち新規雇用①+② ↑ ( 人)				
				正社員① ┌ ( 人)				
				派遣社員等② └ ( 人)				
	小計			新規雇用の内訳 県内( 人) 県外( 人)				
第2期以降				_____人				
				うち新規雇用①+② ↑ ( 人)				
				正社員① ┌ ( 人)				
				派遣社員等② └ ( 人)				
	小計			新規雇用の内訳 県内( 人) 県外( 人)				
合計								

(5) 電気、電話、燃料

	電 力			電 話 (回線)	燃 料				
	契約 電力 (kw)	受電電圧(V)			重油 (kl/日)	軽油 (kl/日)	灯油 (kl/日)	ガス (m <sup>3</sup> /日)	その他
		普通 高圧	特別 高圧						
第1期									
第2期 以降									
合計									

(注) 重油については、その種類を記載してください。

(6) 上水道及び工業用水道の予定使用量

	上水道（簡易水道）	工業用水道	備 考
第1期	t/日	t/日	
第2期以降	t/日	t/日	
合 計	t/日	t/日	

※1日当たりの最大使用量（予定）を記載してください。

※1日当たりの最大使用量が100 t/日を超える工場の場合は、事前協議をお願いします。

(7) 輸送計画（最終）

区分	主要品目名	数量(t/年)	経 由	仕入地又は発送地
到 着				
	合 計			
発 送				
	合 計			

※経由については、「メーカー直送」、「〇〇工場直送」等と記入してください。

仕入地又は発送地については、「〇〇工場」、「〇〇首都圏方面」等と記入してください。

(8) 福利厚生施設建設計画

施 設 名	用 途	規 模	計画年度	予定地	
				団地内	団地外

※予定地は該当する方に○印を、予定がない場合は、「なし」と記入してください。

(9) 公害

	現工場における公害の処理対策及び現況	計画工場における 公害発生源及び公害の処理対策
法律・ 条例		
公害防止協定		
公害発生源等		
処理対策・ 現況		

(注) 公害発生源等については、騒音振動等の発生源となりそうなボイラー・エアーコンプレッサー等の施設を列挙してください。

処理対策には、ばい煙装置、振動防止ゴム、低騒音遮蔽装置等具体的に記入してください。

(10) 高圧ガスの使用計画

--

(11) 地元企業（県内企業）の活用計画

--

(12) 地域への貢献

--

※地域への貢献としてこれまで実施してきたこと、また今後実施しようと考えていることについて、記入してください。